

震 災 学 習 指 導 略 案

指導者 岡本 武利

1. 指導教科 総合的な学習 2 時間
2. 日 時 平成20年12月17日(水)
3. 目 標 ・ 写真やビデオみたり、家の人の話を聞いたりして、避難所のようすを調べ、非常時でも子どもたちにできることがあることに気付く
4. 本時の展開

児 童 の 活 動	指 導 上 の 留 意 点	資 料
<p>1. 何の写真か話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つぶれかかっている塀 ・ 地震で被害を受けた塀 ・ 地震で家がつぶれている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阪神淡路大震災で、被害をうけたことを知らせる。 ・ 家を無くした人たちは、避難所生活を強いられる事を知る。 	<p>写真 (被害を受けた学校の塀、道路、つぶれた家)</p> <p>ビデオ (当時の被災の様子)</p>
<p>2. 学校の避難所のようすをみて、話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動場にも避難者がいる ・ 運動場、体育館が使えない ・ 不自由な生活をしている ・ 困ったことがいっぱいあっただろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフラインを失い、寒い中で不自由な生活を余儀なくされている避難者の様子に目を向けさせる。 	<p>写真 (避難所一教室、運動場、体育館)</p>
<p>3. 世話をした人は、どんな気持ちで、どんな世話をしていたかを話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張っって欲しいと一生懸命に ・ 救援物資を配る・掃除 ・ 話を聞く ・ 宿直 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世話をする人々に目を向け、中心になって活動したのは、学校の先生であったことを伝える。 ・ 懸命に避難者に関わってくれた人も、被災者であり、疲れが蓄積してきていることに、気付かせる。 ・ 疲れた先生たちや、弱気になっている避難者は元気を取り戻すかどうかに目を向けさせる。 	<p>写真 (救援物資、物資の配付、呼び出し、炊き出し、風呂、保健室)</p>
<p>4. 疲れた大人が、元気を取り戻したのはなぜかを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで助け合った ・ 医師団のおかげ ・ 被災者の前向きな取り組み ・ 子どもたちの頑張り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちには、秘めた力があることに、自信を持たせる。 	<p>ビデオ (紙芝居、清掃、炊き出し)</p>
<p>5. 非常時に自分たちは、どんなことをしたらよいかを考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の人に、どのような暮らしをしたかを聞き取り、自分たちの使命を考える手立てとさせる。 	<p>記録用紙 (困った事、頑張った事を書く)</p>

<p>6. 家の人に聞いてきたことを、発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒かった ・水が欲しかった ・みんなで力を合わせた ・子どもたちと勉強した 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変だった、困ったなどの後ろ向きなことだけでなく、前向きながんばってきたようすも取り上げる。 	<p>写真</p> <p>(当時のたいへんだったようすが分かるもの)</p>
<p>7. 語り部から当時の話を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命 (一つしかない命を大事にする) ・使命 (どのような立場の人でも、しなければならぬことがある) ・懸命 (どんな困難にも、前向きで一生懸命生きていく) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世話をした側の人から話を聞くようにする。 ・避難されている人々の言動、世話をしている人たちのようすを、三つの命にまとめて、できることはないかを考える材料とする。 	<p>写真</p> <p>(物資の配付、炊き出し、話し合っているようなもの)</p>
<p>8. 自分たちにできることはないかを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人の人と一緒に手伝いをする ・一生懸命に勉強をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で学習をした学校の、子どもたちの活躍ぶりを思い出しながら考えさせる。 	<p>作文</p> <p>(当時の学習で、前向きな作文、短歌等)</p>
<p>9. もしもの時に備えて、自分たちは何をしたらよいかを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予備知識を持っておく ・訓練に一生懸命に取り組む ・防災学習を頑張る 	<ul style="list-style-type: none"> ・頭で知識を覚えるだけでなく、行動に移せるように、具体物等準備しておく。 ・学習が次の発展学習につながっていくように、子どもの意識を高めておく。 	<p>非常持ち出し袋</p> <p>(懐中電灯、携帯ラジオ、携帯電話、スリッパ)</p> <p>自然災害の資料</p> <p>(震災の資料に加え、水害など色々な災害の資料)</p>